

## 令和7年度 バイオマス 講演会 プログラム

テーマ：「エネルギー作物(特に、ソルガム、エリアンサスなどの草本系)利用の将来性を語る」

主催：一般財団法人 新エネルギー財団 (バイオマス講演会事務局)

日時：2026年3月5日(木) 13:00 開演

開催方法：オンライン開催 (Zoom ウェビナーで新エネルギー財団会議室からライブ配信)

定員：最大 500 名

時間	演目/講師	主旨
開会 (13:00)	事務局案内 ○挨拶 (一財)新エネルギー財団 会長 寺坂 信昭	
13:15~14:00 (45 分間)	○「エネルギー作物としてのソルガム育種」 東京大学 GX 戦略推進センター 特任教授 堤 伸浩 氏	実を食料に、茎葉を飼料として利用されてきたソルガムはエネルギー作物としての特性に品種間で大きな違いがある。優れた特性を併せ持つ理想的なエネルギー品種の育成及びソルガムのカスケード利用について紹介する。また、東京大学の GX 戦略、特に森林 GX プロジェクトについても紹介したい。
質疑応答 (10 分間程度)		
14:10~14:50 (40 分間))	○「ソルガムを活用したエネルギー創出事業の可能性」 ・事例紹介 バイネックス(株) ジェネラルマネジャー 中村 英光 氏	バイネックスが取り組んできたソルガム栽培の海外実証について紹介し、その実績や経験をもとにしたソルガムを活用したエネルギー事業の事業化への最短ルートを提案し、議論していきたい。
質疑応答 (10 分間程度)		
休憩 (10 分間)		
15:10~15:50 (40 分間)	○「エリアンサスの栽培と利用方法の研究」 ・事例紹介 電源開発(株)特任研究員 鴻野 健二 氏	J-POWER では、新たな国産バイオマス資源として、成長速度が速いイネ科多年性草本である「エリアンサス」に着目、栽培・ペレット加工・燃料利用などの研究に取り組んでおり、その概要を紹介する。
質疑応答 (10 分間程度)		
16:00~16:45 (45 分間)	○「バイオマス活用の推進と展望について」 農林水産省 大臣官房 環境バイオマス政策課 再生可能エネルギー室 課長補佐 埴 勝太氏	農山漁村の活性化や GX、循環経済の実現に向けた資源作物等も含めたバイオマス活用について、最近の情勢と今後の展望について紹介する。
質疑応答 (10 分間程度)		
閉会 (16:55)		
【司会】(一財)新エネルギー財団 主幹 村田 英美		